



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 アミタホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2195 URL <https://www.amita-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CVO (氏名) 熊野 英介  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長兼CIO (氏名) 末次 貴英 TEL 075 (277) 0378 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|                | 売上高   |       | 営業利益 |       | 経常利益 |       | 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 |       |
|----------------|-------|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
|                | 百万円   | %     | 百万円  | %     | 百万円  | %     | 百万円                  | %     |
| 2023年12月期第1四半期 | 1,068 | △10.1 | 81   | △41.8 | 86   | △44.0 | 60                   | △47.4 |
| 2022年12月期第1四半期 | 1,188 | —     | 139  | △5.8  | 154  | △14.1 | 115                  | △8.7  |

(注) 包括利益2023年12月期第1四半期 55百万円 (△52.7%) 2022年12月期第1四半期 118百万円 (△9.1%)

|                | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
|                | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2023年12月期第1四半期 | 3.47            | —                          |
| 2022年12月期第1四半期 | 6.61            | —                          |

- (注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。  
 2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株主は存在するものの希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。  
 3. 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

|                | 総資産   | 純資産   | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
|                | 百万円   | 百万円   | %      |
| 2023年12月期第1四半期 | 4,747 | 2,010 | 42.2   |
| 2022年12月期      | 4,824 | 2,001 | 41.4   |

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 2,003百万円 2022年12月期 1,995百万円

### 2. 配当の状況

|               | 年間配当金  |        |        |      |      |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
|               | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|               | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2022年12月期     | —      | 0.00   | —      | 3.00 | 3.00 |
| 2023年12月期     | —      | —      | —      | —    | —    |
| 2023年12月期（予想） | —      | 0.00   | —      | 4.00 | 4.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高   |     | 営業利益 |      | 経常利益 |      | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
|    | 百万円   | %   | 百万円  | %    | 百万円  | %    | 百万円                 | %    | 円 銭            |
| 通期 | 5,283 | 9.5 | 774  | 27.0 | 887  | 24.0 | 620                 | 16.6 | 35.37          |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）アマタ株式会社、 除外 1社（社名）

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

|                     |               |             |               |             |
|---------------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期 1 Q | 17,556,360株 | 2022年12月期     | 17,551,360株 |
| ② 期末自己株式数           | 2023年12月期 1 Q | 3,890株      | 2022年12月期     | 3,890株      |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    | 2023年12月期 1 Q | 17,551,220株 | 2022年12月期 1 Q | 17,537,595株 |

(注) 当社は、2022年1月1日付で普通株式1株につき5株の割合、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 .....               | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 .....               | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....    | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....           | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | 5 |
| 四半期連結損益計算書                         |   |
| 第1四半期連結累計期間 .....                  | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書                       |   |
| 第1四半期連結累計期間 .....                  | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....        | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....              | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....     | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....    | 7 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明（財政状態及び経営成績の状況）

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う影響は落ち着きつつあり、消費活動は回復基調にある一方で、原材料・エネルギー・資源価格やこれらに伴う国内の食品・日用品等の物価高騰といったグローバルサプライチェーンの不安定性の継続や世界経済の減速等に伴う生産活動の低迷など、先行き不透明な状況が続いております。このような経済状況のもと、当社グループは、持続可能な社会の実現を目指し、2030年に向けた事業ビジョンである「エコシステム社会構想2030」（2022年11月発表）を掲げ、持続可能な企業経営や地域運営を統合的に支援する「社会デザイン事業」の開発・提供に取り組んでまいりました。その基盤として、子会社の分社化（アマタサーキュラー株式会社、アマタ株式会社）及び新たな子会社の設立（AMIDAO株式会社）を行い、組織の機動力・サービスの品質・価値創造力などの向上に努めるとともに共に、異業種企業との戦略的パートナーシップを積極的に推進してまいりました。

トランジションストラテジー事業領域においては、循環型の事業創出・事業変革を支援する「Cyano Project（シアノプロジェクト）」について新規顧客からの受注が継続しており、顧客に対して脱炭素、サーキュラーエコノミー、ネイチャーキャピタル等の取り組みを全体最適の視点で提案し、構想から構築、実行までトータルでサポートしてまいりました。環境認証審査サービスについても受注が継続しておりますが、提携先の海外認証機関における審査日数の増加に伴い、当社の売上計上にずれ込みが生じ、第2四半期以降に反映される見込みでございます。環境管理業務のICT・BPOサービスは顧客企業における人材不足等の状況を受けて、好調に推移しております。なお、持分法適用関連会社であるCodo Advisory株式会社は、アマタ(株)とも連携し、脱炭素経営に向けた移行戦略の策定・評価支援サービス及び気候変動に関する教育ワークショップ等の提供を拡大してまいりました。

サーキュラーマテリアル事業領域においては、グローバルサプライチェーンの不安定化により原料調達リスクが顕在化するなかで、代替資源の利用ニーズは着実に拡大傾向にあり、特にシリコンスラリー廃液の100%リサイクルは、国内半導体メーカーの増産に伴う発生物（廃棄物）の増量を受けて、好調に推移しております。また、姫路循環資源製造所での非鉄金属原料の取扱量が減少したものの、同製造所及び北九州循環資源製造所での生産性向上の取り組みや、サーキュラーマテリアルとしての石炭代替商品の製造・販売を開始し、取引の拡大に注力してまいりました。なお、2022年10月より旧・川崎循環資源製造所の資源製造業務が「三友プラントサービス(株)川崎工場資源循環プラント」に引き継がれた関係で、当該取引は総額計上から純額計上に変更となっております。

その他事業やパートナーシップ領域については次の通りです。海外マレーシア事業は、顧客企業の生産減等の影響で取扱量が一時的に減少したものの、現地での代替資源ニーズは高く、出荷は好調に推移しており、新規入荷案件の獲得に向けて営業力強化も推進してまいりました。また、インドネシアへの事業展開に向けて、100%リサイクル事業の可能性調査を加速してまいりました。地域課題を包括的に解決する、互助共助コミュニティ型資源回収ステーション「MEGURU STATION®」に関しては、2023年内に50箇所設置の目標に向け、福岡県大刀洗町では全小学校区への設置（計4か所）、神戸市とは取り組みを推進すべく「持続可能なエコシステム社会の構築に向けた連携協力に関する協定書」の締結を行いました。第2四半期以降で展開モデルの構築を行い、同一地域内での面的な設置を更に進めてまいります。パートナーシップ領域については「ジャパン・サーキュラー・エコノミー・パートナーシップ：J-CEP」をはじめ、異業種企業等とのサーキュラーエコノミーに係る具体的な連携事業の検討などを行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、旧・川崎循環資源製造所の取引分が総額計上から純額計上となったことや姫路循環資源製造所での非鉄金属原料の取扱量減少などにより1,068,416千円（前期比10.1%減、前期差△120,285千円）となりました。営業利益は、売上高の減少および販売管理費の増加などにより81,120千円（前期比41.8%減、前期差△58,260千円）となりました。経常利益は営業利益の減少やマレーシア事業に関わる持分法による投資利益の減少などにより86,338千円（前期比44.0%減、前期差△67,751千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益の減少などにより60,961千円（前期比47.4%減、前期差△54,987千円）となりました。

なお、当社グループは社会デザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、流動資産は現金及び預金の減少などにより205,332千円減少し、固定資産は有形固定資産の増加などにより128,852千円増加した結果、前連結会計年度末に比べて76,480千円減少し、4,747,800千円となりました。

負債につきましては、流動負債は未払法人税等の減少などにより92,743千円減少し、固定負債は長期借入金の増加などにより7,286千円増加した結果、前連結会計年度末に比べて85,457千円減少し、2,737,772千円となりました。

純資産につきましては、株主配当を行った一方で親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより前連結会計年度末に比べ8,977千円増加し、2,010,027千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間<br>(2023年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                          |                              |
| 流動資産          |                          |                              |
| 現金及び預金        | 1,779,633                | 1,672,521                    |
| 受取手形及び売掛金     | 744,972                  | 674,524                      |
| 商品及び製品        | 32,989                   | 27,920                       |
| 仕掛品           | 18,498                   | 19,798                       |
| 原材料及び貯蔵品      | 10,844                   | 8,597                        |
| その他           | 182,759                  | 160,933                      |
| 貸倒引当金         | △70                      | —                            |
| 流動資産合計        | 2,769,627                | 2,564,295                    |
| 固定資産          |                          |                              |
| 有形固定資産        |                          |                              |
| 建物及び構築物(純額)   | 391,446                  | 383,533                      |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 320,266                  | 373,691                      |
| 土地            | 752,187                  | 752,187                      |
| その他(純額)       | 83,042                   | 182,815                      |
| 有形固定資産合計      | 1,546,942                | 1,692,227                    |
| 無形固定資産        | 36,966                   | 45,776                       |
| 投資その他の資産      | 470,743                  | 445,500                      |
| 固定資産合計        | 2,054,652                | 2,183,504                    |
| 資産合計          | 4,824,280                | 4,747,800                    |

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間<br>(2023年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                          |                              |
| 流動負債          |                          |                              |
| 支払手形及び買掛金     | 293,290                  | 233,612                      |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 170,000                  | 170,000                      |
| 未払法人税等        | 101,504                  | 23,556                       |
| 賞与引当金         | 76,848                   | 41,084                       |
| その他           | 627,363                  | 708,009                      |
| 流動負債合計        | 1,269,005                | 1,176,262                    |
| 固定負債          |                          |                              |
| 長期借入金         | 1,082,562                | 1,092,500                    |
| 退職給付に係る負債     | 349,349                  | 349,873                      |
| 資産除去債務        | 100,681                  | 100,905                      |
| その他           | 21,630                   | 18,230                       |
| 固定負債合計        | 1,554,224                | 1,561,510                    |
| 負債合計          | 2,823,230                | 2,737,772                    |
| <b>純資産の部</b>  |                          |                              |
| 株主資本          |                          |                              |
| 資本金           | 480,680                  | 483,560                      |
| 資本剰余金         | 250,443                  | 253,323                      |
| 利益剰余金         | 1,225,139                | 1,233,458                    |
| 自己株式          | △482                     | △482                         |
| 株主資本合計        | 1,955,781                | 1,969,860                    |
| その他の包括利益累計額   |                          |                              |
| 為替換算調整勘定      | 39,219                   | 34,132                       |
| その他の包括利益累計額合計 | 39,219                   | 34,132                       |
| 新株予約権         | 6,049                    | 6,034                        |
| 純資産合計         | 2,001,050                | 2,010,027                    |
| 負債純資産合計       | 4,824,280                | 4,747,800                    |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

|                  | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 2022年1月1日<br>至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高              | 1,188,701                                     | 1,068,416                                     |
| 売上原価             | 686,125                                       | 578,380                                       |
| 売上総利益            | 502,576                                       | 490,036                                       |
| 販売費及び一般管理費       | 363,195                                       | 408,915                                       |
| 営業利益             | 139,381                                       | 81,120  |
| 営業外収益            |   |   |
| 受取利息             | 27  | 30  |
| 持分法による投資利益       | 16,451  | 5,010   |
| 為替差益             | 1,428   | 195   |
| 受取保険金            | —   | 3,158   |
| その他              | 3,653   | 3,447   |
| 営業外収益合計          | 21,560  | 11,842  |
| 営業外費用            |   |   |
| 支払利息             | 4,298   | 3,921   |
| 新株予約権発行費         | —   | 2,391   |
| リース解約損           | 2,245   | —   |
| その他              | 308   | 311   |
| 営業外費用合計          | 6,852   | 6,624   |
| 経常利益             | 154,090                                       | 86,338  |
| 特別損失             |   |   |
| 固定資産除却損          | —   | 1,370   |
| 特別損失合計           | —   | 1,370   |
| 税金等調整前四半期純利益     | 154,090                                       | 84,968  |
| 法人税、住民税及び事業税     | 719   | 20,890  |
| 法人税等調整額          | 37,422  | 3,116   |
| 法人税等合計           | 38,141  | 24,006  |
| 四半期純利益           | 115,948                                       | 60,961  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 115,948                                       | 60,961  |

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

|                  | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 2022年1月1日<br>至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益           | 115,948                                       | 60,961  |
| その他の包括利益         |   |   |
| 為替換算調整勘定         | 1,097   | 440   |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 965   | △5,527  |
| その他の包括利益合計       | 2,063   | △5,087  |
| 四半期包括利益          | 118,012                                       | 55,874  |
| (内訳)             |   |   |
| 親会社株主に係る四半期包括利益  | 118,012                                       | 55,874  |



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であるアマタ株式会社の商号を2023年1月1日付で「アマタサーキュラー株式会社」へ変更し、2023年1月5日付でアマタサーキュラー株式会社の事業の一部を会社分割（簡易新設分割）の方式により新設会社（商号は「アマタ株式会社」）に承継させるとともに、当社の完全子会社としたため、連結の範囲に含めております。なお、新設会社であるアマタ株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、2023年1月5日付でAMIDAO株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。